

全体朝礼 挨拶

令和6年5月20日

1学期中間考査も先週で終わり、今週から高校総体県予選が多く部で始まります。

日頃、鍛えた心と技、チームワークを発揮して欲しいと思います。

また、3年生にとっては、本日も早速、進路選択に関する合同LHRが行われるなど、社会に向けた大きな一歩となる選択がこれから待っています。

先日、進路から配られた進路通信「Approach」には、「進路選択で、どんな職業に向いているか」は、「自分が遭遇した物事に、徹底的に打ち込むことが重要」と、ありました。私もこのことは、自分を知る上で、とても大切であると思います。

何事も一生懸命に努力していく過程で見えてくるものがあります。もちろんその過程では、良いことばかりではありませんが、「思っていたよりも奥が深くて、自分にぴったりの新たな発見があった。」「知らない分野に気づくことができた。」など、皆さんの経験による知的探究心が次の行動につながるでしょう。

また、「試合に勝った。」「試験に合格した。」その結果は、苦勞してきた時間に比べればひとときであることを皆さんも知ってのとおりですが、必死に努力し汗をかいた分だけ結果はどうあれ、心は確実に成長をすることができます。

さて、大会や進路選択を前に、皆さんに成功の秘訣となる一つをここでお話しします。

ゴールドメダリストなどに勝利の秘訣を聞いたところ、選手が「相手に勝つ前に、まずは自分との戦いだ。」「最大の敵は自分自身だ。」という選手が多くいることは皆さんも知っているかと思います。では、自分のどのような部分を克服する必要があると思いますか。

(ここからは、特に「耳で観て」ください。)

一年生には入学式でも話をしましたが、**何事も、常に+（プラス）思考で挑む**ということです。時として、口から出る言葉にプラス思考な発言があったとしても、場面や相手が変わり、自分の都合で-（マイナス）思考な発言があると、心にブレが出てしまいます。言葉に芯が無く、ただ吐き捨てているだけになってしまいます。-（マイナス）思考な発言を繰り返されると、その人を遠ざける人も出てくるでしょう。それでは周りを巻き込み思いを叶えることはできません。

では、どうすれば叶うのか。口に+（プラス）と書いて、**叶う**と書くように、その時その時、「自分はやれる。」「自分はできる。」と自分の潜在能力を信じ、チームメイトや顧問の先生、教科・学科の先生を信じ、常にプラスの言葉を口にするなど、どんな困難な時でもプラス思考で汗を流すことで、目標を叶える力が個人やチームに付くでしょう。

それでも本当に一生懸命にやっていると、キツイ時が出てきます。その時は、笑い飛ばしてください。皆さんには、キツイことも跳ね返すバイタリティが身につくでしょう。何をやっても一生懸命することは、良いことばかりです。

徹底的に打ち込んで、社会に出る前のリアルな高校生活を楽しんで欲しいと思います。今後の皆さんの活躍を祈念して、本日の、全体朝礼の挨拶といたします。

